

Scenario Section

本シナリオでは本書に掲載されている、以下のサンプルキャラクターをクイックスタートで使用することを推奨する。

PC①：相克の瞳(P080)

PC②：剣の聖女(P082)

PC③：宇宙の荒武者(P118)

PC④：白き鳳凰(P128)

コンストラクション

プレイヤーがルールを知っていて、ルールブックも所持している場合、コンストラクションでキャラを作成してもよい。

メインプレイの前に

キャラクター作成後に、プレイヤーにPCの自己紹介をしてもらおう。その後PC間の関係を決定し(『CFS』P180)、ソフィア(『CFS』P180)を決定すること。PC間パスの結び方は以下の通り。

PC①→PC②→PC③→PC④→PC①

PC①のスタンス

PC①のバックストーリーは、サンプルキャラクター「相克の瞳」と同じである。基本的には、このサンプルを使用してプレイするとよいだろう。また、PC①はコンストラクションの場合でもブランチはサムライとすること。

PC③のブランチ

PC③のブランチは艦長であることを想定している。これはPCたちの移動手段の問題だ。コンストラクションであってもブランチは艦長とするようオファーを出すこと。

プレイヤーが5人の場合

プレイヤーが5人の場合、PC②の補佐として派遣された神炎同盟ないし通商連合のエージェントとしてPC⑤を設定するとよいだろう。

サンプルキャラクターとしては戦場の女豹(P126)の使用を推奨する。

本シナリオについて

本シナリオは淡海住久を巡るキャンペーンの第一話としてプレイすることを念頭に置いている。続編はあなたたち自身の手でぜひ作ってもらいたいが、P201にサンプルシナリオフックを用意した。望むならば、シナリオクラフトなどと組み合わせてすぐに遊ぶこともできるだろう。

もちろん単発でプレイすることも可能だし、まったく別の展開を迎えてもいい。それがTRPGというものだ。

シナリオハンドアウト

各PCには以下の設定がつくので、キャラクター作成の時によくプレイヤーと相談すること。

PC①：淡海住久の孫である
PC②：エニア三世の側近である
PC③：織田信長の臣下である
PC④：アムルタート五龍将のひとりである

PC①用ハンドアウト

シナリオパス： クイックスタート：相克の瞳
ミリーヌへの好意 推奨ミーム：アラドゥス

不慮の事故で死んだキミを待っていたのは、太平洋戦争で死んだはずの曾祖父だった。だが、キミは自分づけのメイド、ミリーヌから、曾祖父が自分を地上を侵略するための兵器のサムライにしようとしているのだ、と聞かされる。衝撃を受けたキミに、住久はそれが真実だと告げた。そしてキミは、彼女とともに海の底の街アツミを脱出する。

PC②用ハンドアウト

シナリオパス： クイックスタート：剣の聖女
PC①への義務感 推奨ミーム：オリジン

キミは神王エニア三世の臣下だ。あるときエニアはキミを呼び出した。オリジンの、否、三千世界の運命を変えるかもしれない若者がアラドゥスの地に現われたというのだ。託宣によればその名はPC①。彼を護り、カオスフレアとしての宿命に導くことこそがキミに与えられた使命なのだ。

PC③用ハンドアウト

シナリオパス： クイックスタート：宇宙の荒武者
織田信長への忠誠 推奨ミーム：富嶽(艦長)

キミはこのオリジンでもう長く、信長の臣下として戦ってきた。そして今日もまた、信長から特命が与えられる。一切の支援なし。単艦でのテオス／ロンデニオン領域での作戦活動。だがその使命には三千世界の運命がかかっているという。もちろんキミはその使命を受け入れた。なぜなら、そのような困難な任務こそ武士の本懐であるからだ。

PC④用ハンドアウト

シナリオパス： クイックスタート：白き鳳凰
イルルヤンカシュへの忠誠 推奨ミーム：アムルタート

キミは五龍将、冥龍皇イルルヤンカシュ直属の部下だ。キミに下される命令は、アムルタートの命運に関わるものしかない。今日のキミの使命は、オリジン全域で広がっている海の拡大事件を調査することだ。イルルヤンカシュによれば、エニアの神託で事件を解決するための手がかりとなる若者が現われるというらしい。まずは若者を保護するのだ。